

# 機動力・出荷力が向上

## カシオペア新プラント完成し火入れ式 アスコン

二戸市福田地内に新設された「カシオペアアスコン共同企業体」アスファルトプラントの火入れ式が23日、二戸市内の現地で行われた。共同企業体や発注機関の関係者ら60人余りが参加。新しいプラントの稼働開始を祝いながら、地域のよい良い社会資本整備への貢献を願った。

このプラントは、現在の北岩手アスコン共同企業体のアスファルトプラントを移転新築したもの。構成会社は鹿島道路(株)(吉田英信代表取締役社長)、(株)中館建設(中館眞代表取締役)、(株)フクタ(中田

勇司代表取締役社長)の3社で、代表は鹿島道路東北支店の田祐久取締役専務執行役員が務める。

設置場所は二戸市福田字中屋敷3-1地内で、八戸自動車道浄法寺インターチェンジの近く。敷地面積は9550平方メートル。

新しいプラントの1時間当たりの合材製造能力は96トで、既存のプラントから約60%の能力向上となる。リサイクルユニットは加熱方式であることから、再生骨材のリサイクル率が向上する。また合材サイロは100トと80トの2基で、最大1

80トの貯蔵が可能となっている。

新プラントが完成したことで、機動力や出荷能力が向上。従来からの国道や市町村道の舗装工事向けに加え、NEXCO東日本の舗装補修向け需要への対応が可能となることから、工事が輻輳した場合にも、発注者や施工者のニーズに十分対応できる施設となる見通し。また、規模拡大による省エネルギー化も図られている。

本格的な稼働開始は7月1日で、今秋には敷地内に中間処理施設が完成する予定。今後は、CO2削減など低

炭素化に向けた取り組みも進めていく考えだ。

23日の火入れ式には、共同企業体、国土交通省、NEXCO東日本、県、市町村などの発注機関、取引企業の関係者ら60人余りが出席した。鹿島道路の吉田社長らがスイッチを押してプラントに点火。出席者たちはプラントの無事完成と稼働開始を喜び合った。

式典の最後には吉田社長があいさつに立

ち、プラント整備の経緯を紹介しながら、「このプラントを通して、

地元のお役に立ちたい」と、共同企業体の名称を「カシオペア」にした理由にも言及。その上で「国土

交通省、NEXCO東日本、県などが発注する工事だけではなく、万が一の災害時には迅速に良質な合材を安定供給し、地域の発展に貢献していきたい」と決意を示した。



あいさつする鹿島道路の吉田社長



完成したアスファルトプラント (提供・カシオペアアスコン共同企業体)



関係者らがスイッチを押し点火